



いろいろな人が感じている

「不便さ」や「不自由さ」

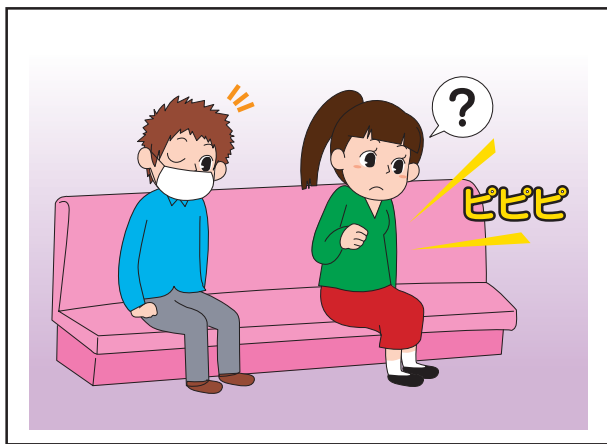


.....生活用品では.....

目の不自由な人は、ジュースとビールなど、大きさや形の似ているものを区別することが苦手です。



耳の不自由な人は、体温計が「ピピピッ」と鳴っても気づかないので不便だと感じています。

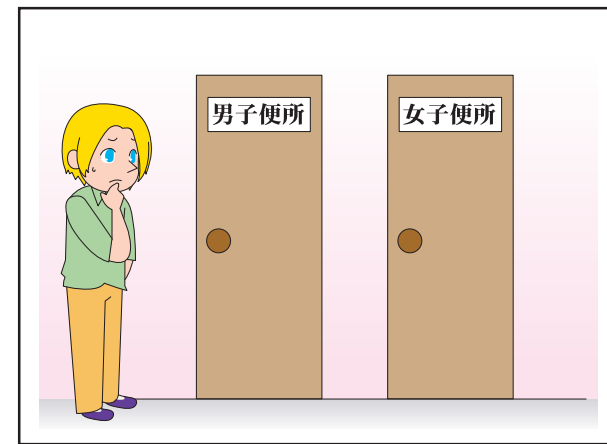


.....まちなかでは.....

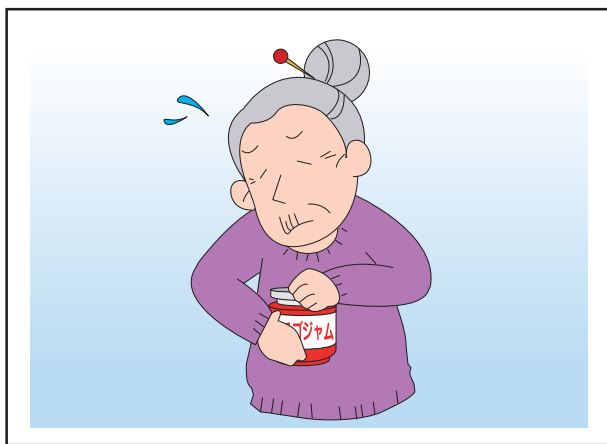
小さな子どもは、手洗い場の蛇口じゅくちに手が届かないことがあります。



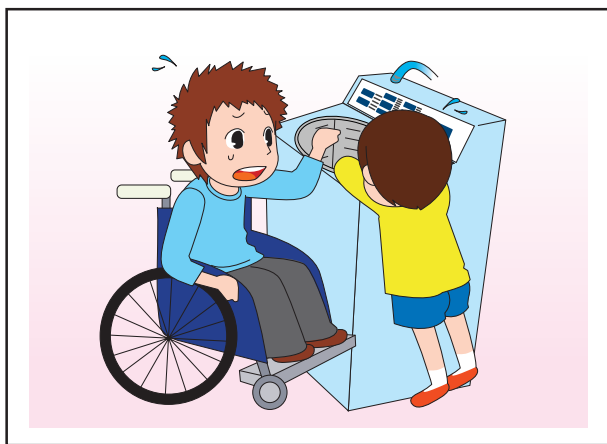
日本語の読めない外国人は、どちらのトイレに入ればいいのかわかりません。



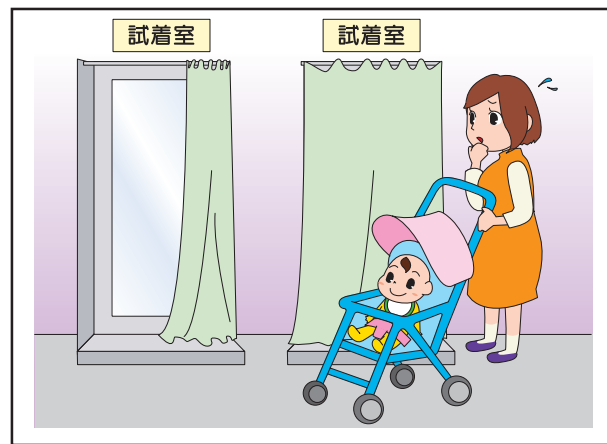
お年寄りは、手の力が弱いので、ビンのフタを開けるのが大変です。



小さな子どもや車いす使用者は、洗濯物を取り出すときに苦労します。



段差があって、中がせまい試着室は、ベビーカーを連れた人にとっては不便です。



階段は、お年寄りや妊娠にんしんしている人は苦手です。車いすの人は使えません。

